



会場となる東京立正短期大学

日本福祉文化学会の原点に返り、  
〈本学会ならではの〉開催地（東京）  
らしい、〈会場校（東京立正短期大  
学）らしい、大会にすることを目的  
に、「多様化する〈家族〉がひろく

未来へくらし・文化・地域の視点か  
ら」を大会テーマとして設定した。  
今大会では、少し違った幅広く、  
ユニークな「くらし・文化・地域」  
という切り口から、今日の多様化す  
る〈家族〉がひ

らく未来につ  
いても考えて  
いきたい。その  
ために、講演者、  
発表者は、福祉  
分野にとどまら  
ず、文学、美術、



NHK連続テレビ小説「あさが来た」  
脚本家 大森美香さん

音楽、歴史、司法など、多様な分野  
の方々に担っていただく。特筆すべ  
きは、NHK朝の連続テレビ小説「あ  
さが来た」脚本家 大森美香さん  
をはじめとする豪華な登壇者たちであ  
る。まさに、馬場・本学会長の目指

す「ワクワクドキドキ」の楽しさと  
「フムフムなるほど」の発見が同時  
に体験できる贅沢なプログラム内容  
であるといえる。  
大会を通して、参加者と発表者、講  
演者が互いに出会い、価値観を交わ  
らせることで、それぞれの〈地域〉で、  
それぞれの〈家族〉が、それぞれの〈生  
き方〉を認められ、支えあい、豊かな  
暮らし（生活）を実現できる、新たな  
〈くらし〉が生まれることを願ってい  
る。多くの皆さまが、家族、友人、親子  
で参加されることを期待している。

## TOKYO 東京 でお会いしましょう！

# 日本福祉文化学会全国大会 東京大会が開催！ 第27回 日本福祉文化学会全国大会 東京大会 開催にあたって

大会長 月田みづえ

2016年  
10月22日(土)・23日(日)  
東京立正短期大学

## 研究委員会「持ち寄りゼミ」快調！——持ち寄りゼミ世話人 藺田 碩哉

研究委員会では昨年6月以来、2か月に1度ほどのペースで「持ち寄りゼミ」と名付けた自由勉強会を開いてきた。1つのテーマを決め、それについてメンバーが思い思いの素材一読んだ本、新聞の切り抜き、TVの番組や映画の紹介、自分の体験…などを持ち寄って提供し、いろんな角度から点検して「福祉文化」を掘り下げようという趣旨である。最近のテ

マでいうと、デイサービスでの賭け事、福祉文化としての音楽活動、高齢者の子育て支援、介護従事者のストレス・コントロールなど、世間をにぎわしたホットな話題に挑戦している。

議論に当たっては問題を「文化の眼鏡で見る」というのを基本的な方法にしている。眼鏡と言ってもいろいろあって、理想の文化という価値志向レンズもあれ

ば、文化批評という、事象の背後にあるものを批判的に見通そうとするレンズもある。いずれにしても「文化」という問題意識を忘れないことが福祉文化研究の要諦だと考えている。この蓄積を生かして今年の全国大会では、福祉文化研究の新しい方向と方法を楽しく展開するワークショップを企画している。どうぞ皆さんおいでください。

## 文化の交差点

### 私を支えた福祉の道しるべ

① 日本福祉文化学会副会長 岡村ヒロ子

文化の交差点。3年目は本会副会長の岡村ヒロ子さんに3回コースで執筆いただくことになりました。

今、こうして福祉に携わっている私の原点は何かと、ふと考える。父の死を機に介護の世界に飛び込んだのは1987年。福祉は大きな変革期に入っていた。1998年、介護福祉士養成職に就いたが、何を指標に教えたらいいのだろうかと思いついた。ある本を読み進めると「生活者の視点」「福祉の文化」「文化の福祉化」ということが目に留まった。一番の瀬戸子著とある。「介護の目的は、福祉ニーズをもつ方が生活支援を受けることでその人らしい生活を取り戻すこと」そのことが心がすうと入ってきた。介護職の時に、そのことをただ意識していただろう。「福祉の文化」「文化の福祉化」ということは、当時の私にはとても新鮮だった。そこに軸をおいて養成していくと確信した。私は「福祉」とは、人々がよりよく生きることであり、また「文化」とは、人々が生活の営みの中で、その地域・風土に生まれ、年月をかけて根付いた特有の芸術、生活様式・習わしと捉えている。一番の瀬戸先生は「福祉を文化まで高めてこそ真の福祉であり、文化である」と説き、1980年代後半には「福祉現場には人権文化が育っていない」と苦言を呈した。その頃、特別養護老人ホームの介護職だった私は、当時の画一的で尊厳の保持とは程遠い介護現場を思い出し、そのような実態を憂いての指摘だと思えた。措置の時代、教育制度も十分に整っていなかった福祉現場に、人権文化が育つような土壌は培われていなかったのかもしれない。介護を人権保障の最後の仕上げを担う働きと捉える先生は、1987年に制定された「社会福祉士及び介護福祉士法」によって誕生した介護福祉士に「日常生活の支援者」のプロとして大きな期待を寄せた。厳しい介護現場におかれている介護福祉士は今こそ「生活者の視点」という原点に立ち戻るときではないだろうか。

## 会員情報

- 2016年6月9日までに、ご入会された方のお名前と所属ブロックをお知らせ致します。(敬称略)  
平田晃之(関西)、鈴木綾子(中部東海)、渡邊英勝(中部東海)
- 2016年6月9日現在  
(会員数)  
個人会員 296名  
団体会員 7団体

集後記 表紙でもお知らせしました、今年度の全国大会が10月に東京で開催されます。今年度は様々な視点から〈家族〉をテーマに話し合いがされます。何より「あさが来た」脚本家の大森美香さんが登壇されるのに、「びっくりポン！」です。「あさが来た」同様に、温かな素晴らしい内容になること間違いなしです。東京立正短期大学でお会いしましょう。(い)

(今回は2018年12月発行の予定です)

## 学会事務局が 6月1日、完全移転

長くお世話になっておりました芸術教育研究所から茨城YMCAへ事務局が移転になりました。このたびは、移転作業に伴い、会員の皆さまには事務局業務が滞り、ご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫言申し上げます。

新事務局で本格始動いたします。これまで同様に学会の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



新事務所 茨城YMCA 宮田主事(左)と前嶋学会事務局長(右)

〒305-0033 茨城県つくば市東新井24-5  
特定非営利活動法人 茨城 YMCA 内  
Tel & Fax: 029-896-9389  
事務局担当: 宮田、佐久間  
開設日: 木曜日 午前10時～午後6時

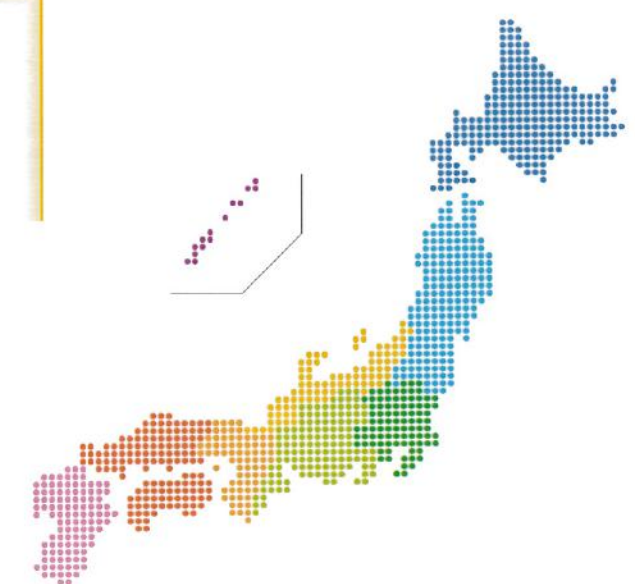
新事務局

メンソーレ おきなわ！  
「現場セミナー 2016 in おきなわ」

1. 日 程 / 2017年2月18日(土)～20日(月)
2. 会 場 / 沖縄県立博物館美術館ホール
3. テーマ / 「戦争と福祉～沖縄を知る Part1～」
4. プログラム
  - ・2月18日(土) 12:30～
  - ★記念講演(講師:フリーライター山城紀子氏)  
&シンポジウム
  - ★懇親会/沖縄料理・琉球舞踊・三線・島唄等々  
の沖縄文化満載!
  - ・2月19日(日)～20日(月) 9:00～
  - ★沖縄歴史探訪/読谷村・今帰仁  
「今帰仁城址」「古宇利島」(案)  
あいあいファーム(宿泊)
5. 参加費
  - ・1日目:1500円(学生1000円)
  - 懇親会:5000円程度
  - ・2～3日目:オプションツアー(諸経費自己負担)

【問合せ先】

- ・つどい場「私空間」/岡村 ヒロ子  
e-mail: h-watashi.4.25@leto.conet.ne.jp
- ・「沖縄福祉文化を考える会」  
会長/佐久本 真智子:090-1949-3000(携帯)  
事務局/安里 和子:keia0926@hi3.enjoy.ne.jp
- 【申し込み】
- ・申し込み様式をホームページに記載
- ・申し込み用紙を福祉文化通信発送時に同封
- ★詳細についてはホームページで随時、ご案内!



沖縄ブロック企画

九州ブロック「熊本大会」  
来年度に延期

九州ブロックの3年間の活動計画に従い、第1年目になる昨年度の長崎大会は、2015年11月15日、社会福祉法人ほかにかわ共和国10周年記念大会(大会長は志賀俊紀理事長)として充実した内容で開催することができました(すでに紹介済み)。

2016年度は「熊本大会」(大会長は米満淑恵・社会福祉法人寿量会総合ケアサポートセンター天寿園理事長)として開催する予定をしていました。しかし、4月に発生した深刻な「熊本震災」などの影響を熟慮した結果、今年度の開催は無理しないで、来年度に延期することになりました。

日本福祉文化学会の重要なテーマである「災害と福祉文化」にも関係する九州ブロック大会になるかもしれません。

九州ブロック担当評議員 日比野正己

「これからの地域福祉文化を語り合う集い」開催

北陸ブロックでは、2016年9月3日(土)～4日(日)の両日、日本地域福祉学会と共催し「これからの地域福祉文化を語り合う集い」を開催します。

この集いは、2004年に新潟豪雨と中越地震、2007年に中越沖地震を経験した新潟県を会場とし、被災者支援に尽力された社会福祉法人から当時の対応、そして現在の活動について学び、今後の活動について社会福祉法人の地域貢献の観点から考える。

さらに、中越地震の際、全村避難となった山古志村(現在の長岡市山古志地区)『やまこし復興交流館おらたる』を訪ね、復興の状況について研修し、映画「掘るまいか」の手掘り中山隧道を見学するフィールドワークを行う。



2日目の研修先 やまこし復興交流館

北陸ブロック担当評議員 石井バークマン麻子

第7回「歌で学ぼう岡山」開催!  
新潟県との初コラボレーション企画

今回のテーマは  
「新潟に学ぶ福祉の心」

開催日時 / 7月31日(日)  
場 所 / 岡山シティーミュージアム

10年ほど前、新潟で行われた日本福祉文化学会全国大会で観た映画『掘るまいか:手掘り中山隧道の記録』。「地域のためにトンネルを掘るべき」「生活のための仕事を犠牲にしてまで掘るべきではない」という論争に始まり紆余曲折、最後は感動の貫通。

そのプロセスは現代社会に生きる我々に「福祉とは?」の答えを教えてくれ、貴重なメッセージを残してくれている。もっとも災害の少ない岡山県だからこそ、より福祉について考えられる新潟

県との初コラボレーション企画。

そして後半のヴォイトレ&ミニコンサートは楽しく、今回のイベントの趣旨がより心に残るためのスパイスとしたい。



第7回 トコトコオフィス

歌で学ぼう  
岡山

岡山人の知らない岡山、まだまだたくさんあります。そんな岡山をみんなで学び、感じていこうと始めた「歌で学ぼう」シリーズは、思いもので第7回。今回は、貴重な映像を上映いたします。

今回のテーマ 「新潟に学ぶ福祉の心」

第一部 / 映画  
「掘るまいか:手掘り中山隧道の記録」上映  
第二部 / 演奏  
松原徹ミニコンサート

7月31日(日) 参加費 1,000円 定員 100名  
会場:岡山シティーミュージアム4F  
岡山市北区駅元町15-1  
開場 / 10:00 開演 / 10:30

参加ご希望の方は当事務局までお申し込みください。  
お申込み:お問い合わせ/トコトコオフィス TEL.086-250-6590  
主催:特定非営利活動法人「富実の館」/トコトコオフィス 後援:日本福祉文化学会

中・四国ブロック担当評議員 松原徹

関西ブロック現場セミナー  
「福祉文化の旅」

現場セミナーとして開催している「福祉文化の旅」を継続していく予定です。新しい出会いと発見を大切に、各人の活動の発展に寄与できるよう、内容を吟味していきます。

発災から6年目を迎える東日本大震災への支援活動は、さまざまな面で縮小され、いわゆる風化が進んでいます。しかし、仮設住宅はさらに2年延期され、2018年度末まで続きます。広域避難者は、大阪府域だけでも、400世帯を超え、1,000人以上(2016年5月現在「大阪府下避難者支援団体等連絡協議会」調査)が避難生活を余儀なくされています。関西ブロックでは、支援活動を細く長く続けている会員もおり、それらの活動の報告と啓発を大切にしていきたいと考えています。

「高齢者福祉日韓比較研究」では、昨年度までの交流事業を基に、今年度は、両国の高齢者への調査を実施し、就労やボランティア活動への参画等についてまとめていきます。

関西ブロック担当評議員 脇坂博史

昨年来、なかなか企画から実行!に進めず、会員のみなさまにはご迷惑をおかけしていますが、2016年度は委員会らしく活動したいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

1. 第27回全国大会 東京大会において、交流分科会
  - ①「地域文化の創造」(子どもをとりまく諸問題と居場所づくり)  
家庭や学校で居場所のない子ども、貧困家庭、児童虐待等々、現代の子どもの周辺にある種々の課題について、居場所づくりの実践者に語っていただきます。
  - ②「研究と実践の融合」(子どもが育つ地域環境)  
子どもや家族を支える地域環境について、地元杉並区で活動しておられる方々を交えて話し合いたいと思います。
2. 2016年度中に、関西において、社会的養護が必要な子どもたちの生活を支援している実践者の講演を企画しています。

日本福祉文化学会の活動をタイムリーに情報周知を行うために、『日本福祉文化学会メールマガジン』をリニューアルし再稼働しています。

登録を希望される方は事務局まで連絡をお願いします。  
(電話・FAX 029-896-9389 fukushibunaka@lagoon.ocn.ne.jp)

- 『オールサーバー』  
<http://ml.allserver.jp/about.jsp> を利用します。
- メール本文広告なし/広告メールなし
- 登録は無料です



企画委員会委員長 川北典子

広報委員会委員長 稲田泰紀